

GBS、ADEMの可能性のある副反応報告*

資料1-8

※重篤副作用マニュアル③GBSの項に基づき、「しびれ、脱力感、神経障害、筋力低下、物が飲み込みにくい」といったタームで報告された症例を選択。

No.	年齢・性別	既往歴	経過	副反応名	重篤/非重篤	ロット	転帰	ワクチンと副反応との因果関係	専門家の意見
32	30代・男性	食品による蕁麻疹	本ワクチン接種1ヶ月前、B型肝炎ワクチンを接種。ワクチン接種3日後、両手足(特に手)に違和感が出現。ワクチン接種4日後、強いしびれに近い不快感が足に出現。ワクチン接種5日後、両手に若干の筋力低下を自覚。しびれ持続。日常生活に支障なし。ワクチン接種7日後、他院受診し、ADEM疑いにて入院。ステロイドパルス療法を施行。ワクチン接種10日後、ステロイド漸減。ワクチン接種1ヶ月後、ステロイド終了。神経症状軽快。両上腕伸側に散発的な筋痛あり、経過観察中。	両上下肢しびれ感、筋力低下	重篤	デンカ生研 S2-B	軽快	軽度のGBS又はADEMの可能性もあるが、情報不足	○中村先生: 情報不足のため、評価できません。GBSとしては、症状の発現までの時間など考えにくいと思います。 ○埜中先生: ADEMとしては、時間的に早すぎるが、神経内科でステロイドのパルス療法まで行ったことから判断するとADEMの可能性が考えられる。神経内科での検査所見(特に脳MRI)が欲しい。 ○吉野先生: 程度は軽いものの上肢に比較的限局したGBSが生じた可能性があり、因果関係は否定できないと考えます。
39	40代・男性	ヨード過敏	本ワクチンと季節性インフルエンザワクチンを左右の腕に同時接種。ワクチン接種翌日、本ワクチン接種を受けた腕に5×7cmの腫れあり。37.0℃の発熱、全身倦怠感あり。手のしびれが3日間持続。季節性インフルエンザワクチンを接種した腕にも3×2cmの腫れあり。しびれない。	腫れ、37℃の発熱、全身倦怠感、手のしびれ	非重篤	化血研 SL02B	回復	副反応としては否定できない。	○中村先生: 因果関係否定できない。局所反応と思われます。 ○埜中先生: 局所反応として因果関係は否定できない ○吉野先生: 因果関係あり
40	30代・女性	無	ワクチン接種10分後、接種側の左上腕に腫れ、脱力感、しびれ感、 ワクチン接種2日後、左腕と左下肢の脱力感、しびれ感あり。握力右20kg、左11kg。	筋力低下、しびれ感	非重篤	化血研 SL03BA	調査中	副反応としては否定できない。	○中村先生: 局所症状との可能性が高いと思われます。時間的経過などからも、GBSは否定的です。 ○埜中先生: ワクチン接種10分後の腫れ、脱力感、しびれ感は局所反応として因果関係は否定できない。2日後の左上下肢の症状は情報不足で因果関係は不明。ADEMは時間的に否定できる。 ○吉野先生: 因果関係否定できず
41	80代・女性	慢性心不全、季節性インフルエンザワクチン接種	本ワクチン接種前に季節性インフルエンザワクチン接種歴あり。本ワクチン接種翌日に両手先のしびれあり。翌日には改善。	両手指のしびれ	非重篤	化血研 SL03B	回復	情報不足	○中村先生: 詳細情報が不明です。しかしながら時間的経過や翌日改善からはGBSは否定的です。 ○埜中先生: 両手指のしびれだけで、因果関係はなし。 ○吉野先生: 因果関係不明。高齢者の手のシビレは頸椎症はじめ一過性に生じること多く、本例のシビレが1日で消失したことから、副反応による末梢神経障害より頸椎症のほうが可能性高いと思います。
43	調査中・女性	無	本ワクチン接種約1か月前、季節性インフルエンザワクチン接種。本ワクチン接種2日後、右上腕背面下1/3を中心に直径10cm大の発赤・腫脹・発熱あり。注射針刺入部に強い圧痛あり。右Ⅲ～Ⅳ指の伸展不可能、右小指球部・手掌側から手背部に知覚鈍麻、一部脱失あり。軽快してきている。	右橈骨神経麻痺、尺骨神経麻痺	非重篤	化血研 SL02A	後遺症	副反応として否定できない。GBSの可能性は低い。	○中村先生: 局所症状及び注射手技によるものの可能性が高いと思われます。GBSは否定的です。 ○埜中先生: 時間的關係から、因果関係は否定できない。末梢神経障害があったという客観的な証拠(電気生理学的検査)がないので、情報不足ではある。 ADEM、GBIは時間的關係から否定できる。 ○吉野先生: 因果関係有り

No.	年齢・性別	既往歴	経過	副反応名	重篤/非重篤	ロット	転帰	ワクチンと副反応との因果関係	専門家の意見
45	20代・女性	無	ワクチン接種翌日、両下肢前面から足関節までの部分に痛みあり。 ワクチン接種2日後、ふらつき出現し、受診。 ワクチン接種4日後、症状軽快。	筋肉痛	非重篤	化血研 SL01B	回復	副反応としては否定できない。	○中村先生： 全身症状としての筋肉痛の可能性があります。 ○埜中先生： 情報不足 ○吉野先生： 因果関係否定できず。ふらつきが痛みのためなのか、あるいは運動失調だったのか、気にはなりません。
46	50代・女性	スルファメトキサゾール・トリメトプリム、ホスホマイシン、レボフロキサシン、オロパタジン、パロキセチンにアレルギー反応あり。	本ワクチン接種10日前に季節性インフルエンザワクチン接種。 本ワクチン接種1時間後、口の中と手の先のしびれあり。3時間ほどで自然消滅。	しびれ	非重篤	微研会 HP02A	回復	因果関係不明	○中村先生： 投与直後でもあり、因果関係を否定できませんので不明としました。すぐに消失しておりGBSは否定的です。 ○埜中先生： 軽度のアナフィラキシー様症状と考える。 ○吉野先生： 因果関係不明。3時間で消失していますので、過呼吸症候群の可能性を疑います。
47	10歳未満・男性	1-2歳時、けいれんの既往あり	本ワクチン接種より14日前に季節性インフルエンザワクチン2回目接種。副反応等は特になし。本ワクチン接種後10分くらいに舌を出す、えずくような連続性の咳、顎の不随意運動などの症状出現。会話はしゃべりにくそうだが可能。意識はクリア。四肢麻痺なし。歩行可能。尋麻疹なし。接種部位の発赤腫脹なし。本ワクチン接種1時間後、排尿時に肉眼的血尿を認めた。入院。尿検査にて、潜血検査3+、尿中赤血球を認めず溶血を疑う。血液検査にて溶血所見なし。本ワクチン接種翌日、肉眼的血尿消失。不随意運動持続にて薬剤性のジスキネジーを疑いトリヘキシフェニジル塩酸塩を投与するも、症状は不変。睡眠中は症状消失、見られていることを悟ると頻度増加にて、何らかの誘因でチックが出現した可能性が高いと考える。頭部MRI、脳波検査は異常なし。その後、退院。ワクチン接種3週間後、受診。顎口唇の不随意運動継続、肉眼的血尿なし、尿検査にて潜血検査(+/-)。	顎、舌の不随意運動	重篤	デンカ生研 S1-B	未回復	副反応としては否定できない。	○中村先生： 不随意運動とされていますが、てんかん発作(自動症)の可能性もあります。ただし、けいれんの既往の記載もあり、現時点では因果関係不明としました。 ○埜中先生： 一過性の脳障害。画像所見などなく、評価不能。GBS、ADEMは否定できる。 ○吉野先生： 本症例の症状は、意識は清明であったようですが、てんかん発作の1種のように思います。(単純部分発作)。 接種後10分でも因果関係否定できないと思います。昔chorea minor(あるいはジデンハム・ヒョレア)という、溶連菌感染症に伴う不随意運動が知られていましたが、それに似たような症状と思います。
48	80代・女性	糖尿病にて通院中	本ワクチン接種14日前に季節性インフルエンザワクチン接種。 本ワクチン接種時、膀胱炎を併発しており、レボフロキサシン投与。同日夜、両上肢の筋痛あり、一時的に動きにくくなった。本ワクチン接種2日後には症状消失、血液検査では問題なし。CRP40	両上肢の筋肉痛	非重篤	化血研 SL03A	回復	因果関係不明	○中村先生： 全身症状としての筋肉痛の可能性があります。 ○埜中先生： CK値正常で、筋炎、横紋筋融解症は否定できる。GBSは時間的關係から否定できる。 ○吉野先生： 因果関係は不明。ワクチン接種時に全身性の感染症に罹患していた可能性、あるいはレボフロキサシンの副作用の可能性も否定できないと思います。

No.	年齢・性別	既往歴	経過	副反応名	重篤/非重篤	ロット	転帰	ワクチンと副反応との因果関係	専門家の意見
49	70代・女性	類天疱瘡のためリンデロン(0.25)内服中。糖尿病あり、S状結腸癌で結腸回腸摘出、人工肛門造設、骨盤内全摘。	本ワクチン接種より前1ヶ月以内に季節性インフルエンザワクチン接種。ワクチン接種前、体温35.8℃。本ワクチン接種後5日後、左半身のけいれん発作と意識消失が5分間持続。同日30分毎に5分程度の発作あり。本ワクチン接種11日後、重積発作となり、抗けいれん薬投与。その後、急性散在性脳髄膜炎と考え、ステロイドパルス、抗痙攣剤を施行。ワクチン接種15日後、痙攣発作間隔が延長。ワクチン接種16日後、痙攣発作完全消失。その後、左片麻痺が次第に回復し、後遺症なく退院。	急性散在性脳脊髄炎(ADEM)	重篤	化血研SL2B	調査中	副反応としては否定できない。(ADEMの可能性あり)	○中村先生: 現時点では、けいれんを起こした原因が不明です。基礎疾患の記載がないようですので、投与によってはじめて起こったとすれば、関連性は否定できません。 また、基礎疾患にけいれんを引き起こす可能性のある疾患があったかどうか、画像検査や髄液検査等の情報が必要です。よって、現時点では評価不能です。ADEMの症状にけいれんもありますが、現時点ではADEMとも判断できません。 ○埜中先生: 接種後5日目の事象。ADEMは否定できない。画像所見がないので断言はできないが、脳画像所見が欲しい。GBSの可能性はない。 ○吉野先生:因果関係は否定できませんが、広範な悪性腫瘍が存在するため、全摘したといえども傍腫瘍性神経症候群の可能性も否定できないと思います。
50	40代・女性	無	ワクチン接種6時間後、下肢のだるさ、眠気、脱力感出現。	倦怠感	非重篤	デンカ生研S1-B	回復	副反応としては否定できない。	○中村先生: 全身症状の一つとして矛盾しないと思います。 ○埜中先生: 客観的データなく因果関係は認められない。時間的關係からADEMは否定できる ○吉野先生: 因果関係否定できないと思います。
51	10代・男性	小児喘息	ワクチン接種10分後、動悸、倦怠感、体のフラツキ感出現。2回目接種中止。	心悸亢進、平行感覚障害	非重篤	化血研SL04B	軽快	因果関係不明	○中村先生: 関連性は認めにくいと思います。 ○埜中先生: 一過性のアナフィラキシー様症状近似症状。ADEMは否定できる。 ○吉野先生: 因果関係否定できないと思います。
52	40代・女性	卵等の食品アレルギー	ワクチン接種15分後、蕁麻疹、ふらつきが出現。ふらつきは臥床にて改善。じんましんは消失。	じんましん、ふらつき	非重篤	化血研SL04A	回復	副反応としては否定できない。	○中村先生: 過敏症と思われます ○埜中先生: 一過性のアナフィラキシー様症状近似症状。ADEMは否定できる。 ○吉野先生: 因果関係否定できないと思います。
53	60代・男性	無	ワクチン接種3時間後、頭がぼんやり。ワクチン接種5時間後、寒気、体温が36℃から35.5℃に降下。ワクチン接種6時間後から頭痛、大腿脚筋肉痛出現し、翌日まで持続。階段を上るのに力が入らない。	頭痛、寒気、筋肉痛、虚脱感	非重篤	化血研SL01A	回復	副反応としては否定できない。	○中村先生: 回復しており、全身症状の一つとして矛盾しないと思います。 ○埜中先生: 一過性のアナフィラキシー様症状近似症状。ADEMは否定できる。 ○吉野先生: 因果関係否定できないと思います。
54	30代・女性	無	ワクチン接種30分後、四肢皮膚の感覚異常、疼痛出現。運動障害はなし。神経内科的検索では異常所見なし。	四肢筋肉痛、感覚異常	非重篤	微研会HP02A	回復	因果関係不明	○中村先生: GBSとは考えにくいと思います。 ○埜中先生: 一過性のアナフィラキシー様症状近似症状。ADEMは否定できる。 ○吉野先生: 因果関係否定できないと思います。
55	30代・女性	無	ワクチン接種15分後、両手先のしびれ、口唇の腫れ出現。軽度ではあったが、注射直後に出現。ワクチン接種5時間後、病院で様子を見て帰宅し睡眠。ワクチン接種9時間後、症状回復。	手のしびれ、口唇の腫れ、局所異常腫脹	非重篤	化血研SL01A	回復	因果関係不明	○中村先生: 口唇の腫れは血管浮腫などのアナフィラキシー様症状の可能性がります。 ○埜中先生: 一過性のアナフィラキシー様症状近似症状。ADEMは否定できる。 ○吉野先生: 因果関係否定できないと思います。

No.	年齢・性別	既往歴	経過	副反応名	重篤/非重篤	ロット	転帰	ワクチンと副反応との因果関係	専門家の意見
56	30代・女性	予防接種にて具合が悪くなったことあり。	本ワクチン接種時、季節性インフルエンザワクチン同時接種。ワクチン接種数日後から、手足のしびれ感出現。ワクチン接種8日後から数日、近位筋痛出現。ワクチン接種15日後から手指の脱力あり。握力R30/L25kg。ワクチン接種21日後、腱反射は遠位で消失、近位で減弱。母指対立筋MMT4、FCVの頻度12%と低下。抗GM1 IgG抗体(-)、抗GQ1B IgG抗体(-)。ワクチン接種1ヶ月後、握力は軽度低下(R23.5/L17.6kg)あり、症状は進行性。現在は自宅療養、メコバミン製剤内服にて経過観察。	ギラン・バレー症候群疑い	非重篤	化血研SL01A	未回復	副反応としては否定できない。ギラン・バレー症候群の可能性あり。	○中村先生： 経過や所見からは、GBS否定できません。髄液検査等行っていれば、その詳細も必要です。 ○埜中先生： 接種後約2週目からの末梢神経症状。FCV(F wave conduction velocity)の異常もあり、GBSと判断される。 ○吉野先生： 因果関係は否定できないと思います。GBSというには症状の進行が長く、CIDPのような印象を受けます。
57	30代・男性	無	ワクチン接種9日後、アカンジア(びんぼうゆすり)、精神的退行(赤ちゃん返り)、嘔吐出現。	アカンジア、退行、嘔吐	非重篤	化血研SL01A	回復	副反応としては否定できない。	○中村先生： 症状の詳細が、不明です。 ○埜中先生： 時間的關係から完全には否定できないが、情報不足で評価できない。ADEMは否定できる。 ○吉野先生： 因果関係は否定できないと思います。ADEMが脳炎様症状です。
58	40代・女性	無	ワクチン接種同日夜、膝関節不快感、腰痛出現。ワクチン接種翌朝も症状持続。	膝、腰倦怠感	非重篤	微研会HP02A	未回復	因果関係不明	○中村先生： 症状が不快感など、あいまいであることなどから現時点ではその他の要因ではと考えます。 ○埜中先生： 客観的データなく因果関係は認められない。時間的關係からADEMは否定できる ○吉野先生： 因果関係は否定できないと思います。
59	60代・男性	腫れがあるが特別なことではない	ワクチン接種日は特段の変化なし。ワクチン接種翌日、夜横になると接種した方の上腕部の痛み出現。坐位、立位で軽減をみた。注射部位の腫脹、発赤なし。ワクチン接種15日後、症状が持続するため、医療機関受診。注射部の腫脹、発赤はなく、同部の疼痛ははっきりしなかったため、整形外科に紹介受診。末梢神経障害の診断。	末梢神経障害	非重篤	化血研SL04A	未回復	副反応としては否定できない。	○中村先生： 末梢神経障害と診断した根拠が不明です。 ○埜中先生： 局所反応として因果関係は否定できない。GBSは症状や時間的に否定できる。 ○吉野先生： 事象について因果関係は否定できないと思いますが、末梢神経障害の診断根拠も不明確です。
60	60代・男性	気管支喘息	ワクチン接種同日夕方、右上腕の腫脹感あり。ワクチン接種翌日、右上腕のしびれ、脱力あり。ワクチン接種18日後、医療機関受診。右橈骨神経麻痺と診断となり、加療。予防注射時の疼痛、放散痛はなし。	右橈骨神経麻痺	非重篤	化血研SL03A	調査中	副反応としては否定できない。	○中村先生： 投与部位が右上腕であれば、注射による神経損傷の可能性が高いと思われます。 ○埜中先生： 局所反応として因果関係は否定できない。GBSは症状や時間的に否定できる。 ○吉野先生： 因果関係否定できないと思います。
61	20代・女性	無	ワクチン接種3時間後、11x8cmの発赤腫脹、上肢(接種部位)のしびれ出現。	神経障害、腫脹	非重篤	化血研SL03B	軽快	副反応としては否定できない。	○中村先生： 局所症状と思われます。 ○埜中先生： 局所反応として因果関係は否定できない。GBSは症状や時間的に否定できる。 ○吉野先生： 因果関係否定できないと思います。
62	20代・女性(妊娠34週)	無	ワクチン接種30分まで副反応なし。同日、夕方から軽度のめまいあり。ワクチン接種3日後、めまいの増強、頭痛にて医療機関を受診。体温37.0℃、血圧124/98。	ギラン・バレー症候群	非重篤	北里NM001B	調査中	因果関係不明	○中村先生： ギラン・バレー症候群とした根拠が不明です。症状としても、考えにくくギラン・バレー症候群は考えにくいと思います。 ○埜中先生： 時間的關係から、Fisher症候群の可能性は否定できない。情報不足で評価不能。 ○吉野先生： 因果関係不明。妊娠に伴う高血圧性脳症も疑います。本症状からGBSとは診断できません。

No.	年齢・性別	既往歴	経過	副反応名	重篤/非重篤	ロット	転帰	ワクチンと副反応との因果関係	専門家の意見
64	40代・女性	無	ワクチン接種翌朝から頭痛あり。ワクチン接種2日目の朝から筋肉痛あり。ワクチン接種4日目に回復。	頭痛、筋肉痛	非重篤	化血研SL02B	回復	因果関係不明	○中村先生： 全身症状と思われます。 ○埜中先生： 情報不足で評価不能。GBSやADEMは症状や時間的關係から否定できる。 ○吉野先生： 因果関係否定できないと思います。
65	20代・女性	無	ワクチン接種翌朝から頭痛あり。ワクチン接種2日目の朝から筋肉痛あり。ワクチン接種4日目に回復。	頭痛、筋肉痛	非重篤	化血研SL02B	回復	因果関係不明	○中村先生： 全身症状と思われます。 ○埜中先生： 情報不足で評価不能。GBSやADEMは症状や時間的關係から否定できる。 ○吉野先生： 因果関係否定できないと思います。
66	40代・女性	無	ワクチン接種翌日、非持続的な尺側のビリビリ感有り。メコパラミン投与。	左前腕尺側神経炎	非重篤	デンカ生研S2-B	未回復	情報不足	○中村先生： 症状が非特異的で、情報不足で評価不能です。 ○埜中先生： 局所反応として因果関係は否定できない。神経炎の有無は情報不足で評価できない。GBSは症状や時間的に否定できる。 ○吉野先生： 因果関係否定できないと思います。
67	60代・男性	無	ワクチン接種50分後、右大腿部に発疹(2x1cm)出現。ワクチン接種3時間後、全身のチクチクした感じが出現。ワクチン接種2日後、医療機関受診した際には発疹は消失、チクチクした感じも軽快傾向。	蕁麻疹様発疹、全身のチクチク感	非重篤	化血研SL02B	軽快	因果関係不明	○中村先生： 過敏症と考えられます。 ○埜中先生： 発疹は局所的であり、その他の症状も主観的。GBSはADEMは否定できる。 ○吉野先生： 因果関係否定できないと思います。
68	10歳未満・男性	接種前より軽度の右顔面しびれ感あり。	ワクチン接種3時間後、右耳痛出現。同日夕より右閉眼障害出現。	顔面神経麻痺	非重篤	化血研SL02A	未回復	因果関係不明	○中村先生： 投与前より症状があり、その他の要因と考えます。 ○埜中先生： 接種前から症状があり、ワクチンによって増悪した可能性は残るが。 ○吉野先生： 因果関係は否定できないと思います。ラムゼイ・ハント症候群のようです。
69	50代・女性	無	ワクチン接種5時間後、両手指のしびれが出現。ワクチン接種翌朝、右上肢に痙攣有り。脳神経外科受診	ADEM疑い	重篤	デンカ生研S2-B	調査中	副反応としては否定できない。(ADEMの可能性あり)	○中村先生： ワクチン接種からの時間的経過からは、ADEMとしては少し早すぎると考えられます。また症状として、両手指のしびれから発症も、考えにくいようです。脳外科からのMRI等の結果の詳細が分からないため、情報不足としました。ADEM疑いとしたのであれば、髄液検査なども行われていれば、その結果も必要と考えられます。 ○埜中先生： 時間的關係からADEMは否定できる。右上肢のけいれんがどのような状態であったのか、情報不足で評価できない。 ○吉野先生： 接種後の発症時間は早い気がしますが、他に誘引がないようであれば、因果関係は否定できないと思います。ADEM疑いです。
71	70代・男性	洞不全症候群、心不全	ワクチン接種2日後、両手指の倦怠感、動かしにくいような症状あり。ワクチン接種4日後、消失、両下肢に同じような症状が出現。1週間後に消失。	その他の神経障害	非重篤	化血研SL04A	回復	因果関係不明	○中村先生： 症状も様々で一定しておらず、詳細が不明です。なお、ギラン・バレー症候群とは経過から考えにくいです。 ○埜中先生： 客観的データなく因果関係は認められない。時間的關係からGBSやADEMは否定できる。 ○吉野先生： 因果関係否定できないと思います。

No.	年齢・性別	既往歴	経過	副反応名	重篤/非重篤	ロット	転帰	ワクチンと副反応との因果関係	専門家の意見
72	50代・女性	気管支喘息	ワクチン接種後より頭がぼーっとした感じ、下唇のしびれた感じがあったが、約9時間続いた。	頭がぼーっとした、口唇のしびれ	非重篤	微研会 HP02C	回復	因果関係不明	○中村先生： 全身症状と思われます。 ○埜中先生： 客観的データなく因果関係は認められない。時間的關係からGBSやADEMは否定できる。 ○吉野先生： 因果関係否定できないと思います。
73	50代・女性	無	ワクチン接種翌日、間欠的に体全体、顔がチクチクする。発疹はなし。皮膚科受診するも所見なしとのことで経過観察とした。	体がチクチクする	非重篤	化血研 SL03A	未回復	因果関係不明	○中村先生： 症状が非特異的であり、評価不能です。 ○埜中先生： 客観的データなく因果関係は認められない。時間的關係からGBSやADEMは否定できる。 ○吉野先生： 因果関係否定できないと思います。
74	70代・男性	無	本ワクチン接種8日前に季節性インフルエンザワクチン接種。本ワクチン接種翌日、右上肢のこわばり感、右大腿の発疹、全身の湿疹発現。	右上肢のこわばり感、右大腿の発疹	非重篤	微研会 HP02C	回復	局所反応として否定できない	○中村先生： 過敏症と考えられます。 ○埜中先生： 注射部位の局所反応。その他の副作用。 ○吉野先生： 因果関係否定できず。
75	10歳未満・女	アレルギー	本ワクチン接種1ヵ月以内に季節性インフルエンザワクチン接種。本ワクチン接種1時半後、右目をパチパチさせ、両手をふるわせ、眼球の右方偏位が2分ぐらい認められた。救急車で搬送された際に意識レベルの低下が認められたため、他院に搬送されるも到着時には意識レベルはクリアだった。	無熱性けいれん	非重篤	化血研 SL04A	回復	情報不足	○中村先生： 基礎疾患にてんかん等があるのかがこれでは不明です。「予診表の留意点」についても、基礎疾患については詳細の記述がありません。小児ですので、てんかんの既往についても、情報が必要だと思います。現時点では、情報不足のため評価不能といたします。 ○埜中先生： 接種直後の事象で、けいれんは因果関係はありと判断する。ADEMは時間的關係から否定できる。 ○吉野先生： 因果関係否定できず。
76	60代・女性	バセドウ氏病	本ワクチン接種1ヶ月前、季節性インフルエンザワクチン接種。本ワクチン接種10分後、著明な脱力感による坐位保持不能、一過性左足先痙攣様症状が出現。血圧140/80mmHg、SpO298%、呼吸状態正常にて経過観察。その後、坐位不能が再出現したため他院へ紹介し、入院。	全身脱力	重篤	微研会 HP04D	不明	情報不足	○中村先生： 脱力感、坐位保持不能の原因が不明です。接種後すぐであるので、ショック状態、低血圧によるの可能性もありますが、他の症状なく、バイタルサインも安定しているように記載されており考えにくいようです。 ただ、投与直後で血圧も安定しているにもかかわらずその後も脱力が続き、因果関係を全く否定はできないことから、×1といたします。 脱力感などありますが、時間的経過などからは少なくともGBSは否定的です。 ○埜中先生： けいれんまでは至らなかったが、それに近い中枢神経系の異常があったと思われる。ADEMは時間的關係から否定できる。 ○吉野先生： 因果関係不明。接種10分後というのが神経障害性生じるには早すぎ、他の原因精査を要します。
77	20代・女性	アレルギー性鼻炎	接種同日、体温37.7度、全身倦怠感、脱力感、めまい、食欲低下、白血球5,800、ヘモグロビン14.0、血小板203,000。	全身倦怠感、めまい	非重篤	化血研 SL03A	軽快	情報不足	○中村先生： 全身症状としての発熱、倦怠感、めまいと考えます。 ○埜中先生： 症状の経過がなく、判断できない。 ○吉野先生： 因果関係不明。感冒を生じた可能性を疑います。

No.	年齢・性別	既往歴	経過	副反応名	重篤/非重篤	ロット	転帰	ワクチンと副反応との因果関係	専門家の意見
78	10歳未満・男性	季節性インフルエンザワクチン、新型インフルエンザワクチン同時接種 季節性インフルエンザワクチン同時接種	接種11時間後、歩くと倒れ歩けなくなった。黒目が片方によった。発熱なし。 接種12時間後、医療機関受診し、症状消失。 接種2日後、異常なし、後遺症なし。	不明	非重篤	化血研 SL06A	回復	情報不足	○中村先生： 詳細が不明で判断できません。 ○埜中先生： 神経症状の詳細不明。たぶん因果関係なし。 ○吉野先生： 一過性の脳症の因果関係否定できず。下肢の麻痺とおそらく眼球共同偏視が生じたものと疑います。
79	20代・女性	薬や食品による発疹、蕁麻疹や体調不良 季節性インフルエンザ接種	右足関節以下のしびれ感が15分間持続。	右足関節以下のしびれ感	非重篤	化血研 SL03A	回復	情報不足	○中村先生： 投与からの時間的経過等がなく、判断できません。しかしながら、すぐに消失していることからGBSIは否定的です。 ○埜中先生： 情報不足 ○吉野先生： 因果関係不明。
80	40代・女性	無	本ワクチン接種翌日11時より左頭部～頭部全体の軽いしびれ出現。その後、左顔面の違和感(もたもたした感じと軽いしびれ)出現。	左頭部～頭部全体の軽いしびれ	非重篤	化血研 SL01A	回復	因果関係不明	○中村先生： 症状が少し曖昧でもあり、評価困難です。投与からの時間的経過からもGBSIは否定的です。 ○埜中先生： ワクチン接種後11時間目の事象で、因果関係は認められない。 ○吉野先生： 因果関係不明。三叉神経障害。膠原病が合併することしばしばあります。
81	30代・男性	無	本ワクチン接種当日の夜、鼻汁、咽頭痛の風邪症状出現。その後、入浴時にお湯に対する感覚が鈍くなり、接種3日後から37℃台の発熱と全身倦怠感あり。38.6℃の発熱があり、内科を受診し、抗生剤と消炎剤により解熱。接種16日後も足の異常知覚続き、握力右23.5kg、左17.5kg、アキレス腱反射右(+)、左(±)。接種28日後、足の異常知覚は自然消失。	足の異常知覚、38.6℃の発熱	非重篤	化血研 SL01A	回復	副反応として否定できない。異常知覚については情報不足	○中村先生： 発熱などは、全身症状とと思われます。異常知覚については、投与当日からあるようでGBSIとしては投与からの時間的経過が早すぎると思われます。また、反射も保たれていることから否定的です。電気生理学的検査等の検査の結果も必要です。 ○埜中先生： 末梢神経障害があったのかどうか、客観的なデータがなく評価できない。時間的關係からADEMやGBは否定できる。 ○吉野先生： 因果関係否定できず。感覚性ニューロパチーが生じたと考えられます。
82	50代・女性	狭心症	ワクチン接種時、手足の脱力感が出現。その後、徐々に回復。ワクチン接種1時間後、両手脱力感、頭がぼーっとする感じが発現。症状が不安定にて、院内で経過観察。その後、軽快し帰宅。	筋力低下、異常感	重篤	化血研 SL04B	軽快	因果関係不明	○中村先生： 経過等から、本薬との因果関係は認めにくいと思います。投与直後でもありGBSIは否定的です。 ○埜中先生： 接種直後の事象で、関連ありと判断するが、末梢神経障害なのか、中枢神経障害なのか客観的データがなく評価できない。時間的關係からADEMやGBは否定できる。 ○吉野先生： 血管迷走神経反射で、インフルエンザワクチンに限らず、緊張した状態で採血うけても生じる事象です。因果関係はないと判断してよいでしょう。
83	40代・女性	関節リウマチ	本ワクチン接種後、帰宅し、全身倦怠感と下肢脱力出現。	下肢弛緩性麻痺	非重篤	微研会 HP02D	回復	情報不足	○中村先生： 全身倦怠感に伴う下肢脱力と思われます。GBSIは否定的です。 ○埜中先生： 下肢脱力の経過がわからないので評価不能。時間的關係からADEMやGBは否定できる。 ○吉野先生： 因果関係不明

No.	年齢・性別	既往歴	経過	副反応名	重篤/非重篤	ロット	転帰	ワクチンと副反応との因果関係	専門家の意見
84	10歳未満・男性	気管支喘息(モンテルカスト投与中)	本ワクチン接種同日夕方、帰りの車の中で睡眠。接種5時間半後、風呂に入れるため起こしたが目と口が半開きで言葉をかけても話さない。接種5時間50分後、風呂からあがっても同じで目を開けたまま横になる。接種6時間後、起き上がった時、昼に食べたものを食べてないと言う。その数分後、目と口の半開き状態が改善し、いつものように応答するようになった。	一過性意識障害	非重篤	化血研 SL02A	回復	因果関係不明	○中村先生: てんかん発作の可能性があります。投与当日でもあり因果関係を否定はできませんが、既往歴等の詳細が不明ですので因果関係不明としました。 ○埜中先生: 軽いけいれん類似の発作と思われる。 ○吉野先生: 因果関係否定できず。
85	10歳未満・女性	無	本ワクチン接種5時間後、自宅で座っていて、目の焦点が合わなくなり、救急搬送中、2回嘔吐。その後、2回嘔吐を繰り返した。	嘔吐、意識障害	非重篤	化血研 SL04A	回復	因果関係不明	○中村先生: 目の焦点が合わなくなったという症状があいまいで評価困難ですが、投与当日でもあり因果関係不明としました。めまい感などをこのように表現しているのであれば、全身症状の一つとも考えられます。 ○埜中先生: 軽いけいれん類似の発作と思われる。 ○吉野先生: 因果関係否定できず。
86	30代・女性	季節性インフルエンザワクチン接種により発熱、発疹の発現。混合性結合組織病、関節リウマチ、シェーグレン症候群	本ワクチン接種10分後、接種側の左肩、左上腕伸側、左前脱伸側、左第3,4,5指にかけて重だるさを伴ったしびれ感あり。血圧116/60で全身的には特に変化無し。接種6時間40分後発熱あり。翌朝解熱。	接種側上肢しびれ	非重篤	微研会 HP02B	回復	副反応として否定できない。	○中村先生: 投与側でもあり局所症状の一つと考えます。 ○埜中先生: 局所反応として因果関係あり。 ○吉野先生: 因果関係不明
87	10歳未満・女性	無	ワクチン接種数時間後、目がぐるりと1周回って、世界一周してきたという意味不明なことを発言。激しい局所反応あり。	幻覚、局所反応	非重篤	化血研 SL06A	回復	副反応として否定できない。幻覚は情報不足。	○中村先生: 症状の詳細が不明で評価困難です。 ○埜中先生: 幻覚は情報不足、局所反応は因果関係否定できない。 ○吉野先生: 因果関係否定できず。
88	70代・男性	無	本ワクチン接種7時間後、全身筋肉痛を発症。熱36度で発熱はなく、翌日起床時は異常なし。	全身筋肉痛	非重篤	微研会 HP03C	回復	因果関係不明	○中村先生: 全身症状の一つとしての筋肉痛の可能性があります。 ○埜中先生: すぐに回復しているので、筋炎、横紋筋融解症は否定できるが、因果関係はないと判断する。 ○吉野先生: 因果関係不明
89	10歳未満・男性	喘息性気管支炎、脳腫瘍	本ワクチン接種13日後の夜、お茶を飲んでいて顔がひきつり、お茶がこぼれることに気付き来院、右顔面神経麻痺を認めた。	右顔面神経麻痺	非重篤	微研会 HP02B	未回復	因果関係不明	○中村先生: 投与から時間が経過していることから、因果関係は否定的です。右顔面神経麻痺は偶発的な可能性が高いと思います。 ○埜中先生: 時間的経過から、ADEMは否定できないが、その後の経過などの情報なく評価不能。 ○吉野先生: 因果関係不明。接種との時間が離れており、Bell麻痺が生じたと思われます。

No.	年齢・性別	既往歴	経過	副反応名	重篤/非重篤	ロット	転帰	ワクチンと副反応との因果関係	専門家の意見
90	70代・男性	関節リウマチ	ワクチン接種翌日、脳症が出現。その後、易怒的となり、会話が噛み合わなくなる。ワクチン接種2日後、コミュニケーション困難にて入院。MRI、髄液、脳波に異常なし。ADEMに準じてステロイド投与。本ワクチン接種4日後、見当識も戻り、改善。本ワクチン接種8日後、脳症回復し、退院。	脳症	重篤	化血研SL03A	回復	副反応として否定できない。	○中村先生： ADEMとしては、若干発症が早いように思いますが、否定はできないと思います。 しかしながら、髄液等でも異常ないとの記載がありますので、確定はできません。 ○埜中先生： ワクチン接種翌日の事象で、軽い脳症があったことは否定できない。 ○吉野先生： 因果関係否定できず。
91	70代・女性	進行乳癌による癌性悪液質	進行乳癌による癌性悪液質にて入院加療中。ワクチン接種6日後、意識障害。接種9日後頭部硬直。髄膜炎と診断。臨床経過より癌性髄膜炎と思われた。ワクチン接種17日後、癌腫にて死亡。	その他の神経障害	重篤	化血研SL02A	死亡	因果関係不明	○中村先生： 主治医の記載のように、原疾患によるものの可能性が高いと思われます。 ○埜中先生： 項部硬直があり、ADEMは否定的。原病による可能性が高い。 ○吉野先生： 因果関係なし。報告者のとおり、癌性髄膜炎でよいと思います。
92	70代・男性	糖尿病、季節性インフルエンザワクチン接種	本ワクチン接種10日前、季節性インフルエンザワクチンを接種。本ワクチン接種3日後、意識混濁が出現し、当院へ搬送。全身性けいれん発作あり。本ワクチン接種4日後、見当識障害等の精神症状出現にて、ステロイドパルス療法開始。本ワクチン接種7日後、症状消失。頭部MRI、脳血流シンチ、脳波は異常無し。髄液は軽度の細胞増多及び蛋白増多。	脳炎疑い	重篤	調査中	回復	因果関係不明	○中村先生： けいれん発作や意識障害等あり、ADEMである可能性も否定はできません。 ○埜中先生： 時間的にみて、脳症の可能性は否定できない。ADEMは時間的に早すぎるし、脳MRIで異常がない、すぐに回復しているので否定的である。 ○吉野先生： 因果関係否定できず
93	10歳未満・女性	季節性インフルエンザワクチン接種	ワクチン接種後、顔色不良、四肢脱力、嘔吐、血圧110/70mmHg、心拍数108回/min。安静により改善。	血管迷走神経反射	非重篤	化血研SL06B	回復	因果関係不明	○中村先生： 血管迷走神経反射の可能性が高いと思われます。 ○埜中先生： 軽いアナフィラキシー様症状と思われる。 ○吉野先生： 因果関係不明。接種直後であれば血管迷走神経反射の可能性が高いと思います。
94	70代・男性	調査中	ワクチン接種1時間後、異常行動が出現。ワクチン接種翌日、その他の脳炎・脳症が発現。	脳症(その他の脳炎・脳症)	重篤	化血研SL06B	調査中	情報不足	○中村先生： 症状や検査結果などの情報不足で、評価困難です。投与直後でもあり、ADEMなどの可能性は低いと思います。 ○埜中先生： その他の脳炎、脳症の情報があつたなく評価不能。「その他」とはワクチンと関係ないとの意味かどうか分からない。ADEMは時間的に否定できる。 ○吉野先生： 脳炎ないし脳症なのか情報不足で評価難しいですが、接種後1時間と短いものの、因果関係否定できないと思います。
95	40代・男性	調査中	短時間に症状改善	口の動きの違和感、しびれ、めまい、舌のしびれ、頭痛	非重篤	化血研SL01A	回復	情報不足	○中村先生： 詳細情報が不明ですので、評価困難といたします。GBSは否定的です。 ○埜中先生： 情報不足 ○吉野先生： 因果関係不明

No.	年齢・性別	既往歴	経過	副反応名	重篤/非重篤	ロット	転帰	ワクチンと副反応との因果関係	専門家の意見
96	10歳未満・男性	無	ワクチン接種翌日、39℃台の発熱が出現。けいれんが出現し1時間持続。その後、意識レベル低下。インフルエンザ迅速検査A型陽性。髄液及びMRI所見に異常なし。脳波にてけいれん時波形が認められた。悪性脳症と診断され、ICUにて治療中。脳冷却実施にて覚醒し、症状安定。目が合わない、手足がびくびくする症状は継続。	その他の脳炎・脳症	重篤	化血研 SL02B	未回復	因果関係不明	○中村先生： 投与からの時間が短いように思いますが、既往歴もなく投与後に起こっていることから因果関係は否定できないとします。 ○埜中先生： インフルエンザA型陽性で、インフルエンザによる症状。ワクチンとは無関係。 ○吉野先生： A型インフルエンザ陽性でしたので、ワクチンの副反応というよりインフルエンザ脳症と考えられます。しかし他のインフルエンザ症状なさそうなので、副反応も完全には否定しきれないと思われま。
97	70代・男性	無	ワクチン接種4時間半後、39.2℃の発熱、入院。その後解熱し、諸検査では特に問題なし。翌日退院。	39℃以上の発熱	重篤	化血研 SL03A	回復	副反応として否定できない。	○中村先生： 全身症状の一つとして因果関係否定できないと考えます。 ○埜中先生： 接種後4時間目の発熱で、因果関係は否定できない。 ○吉野先生： 因果関係否定できず
98	70代・女性	心房細動、高血圧、高脂血症、11月中～末まで過労心労あり	ワクチン接種後、歩行障害。気が遠くなる感じ、めまい、食欲低下、反応が悪い。接種4日後に少し回復し、外出。接種5日後夜までにだいふ回復し、受診。	神経障害、歩行障害	非重篤	微研会 HPO3C	軽快	因果関係不明	○中村先生： 全身症状の一つとして因果関係否定できないと考えます。結果からもADEMは否定的です。 ○埜中先生： 客観的にデータなく、本人の訴えのみ。基礎疾患もあり、評価不能。 ○吉野先生： 因果関係不明。接種直後であれば、いろいろ合併症あるので、発作性頻拍、あるいは感冒の合併の可能性もあると思います。
99	10歳未満・女性	難治性てんかん	ワクチン接種後37.5℃の発熱。下肢にびくつき、けいれん増悪と判断。	けいれん	非重篤	化血研 SL06A	軽快	因果関係不明	○中村先生： 発熱は全身症状と考えられます。既往に難治性てんかんがあるとのこと、発熱により発作が誘発された可能性があります。 ○埜中先生： けいれんの様子などの記載なく、評価不能。基礎疾患があり、たぶん因果関係はないと判断する。 ○吉野先生： 因果関係否定できず
100	50代・女性	多発性硬化症(プレドニゾン5mg/dayにて治療中。30回程度の再発あり)。両下肢麻痺あり。	本ワクチン接種1ヶ月前、季節性インフルエンザワクチン接種。本ワクチン接種翌日、嘔吐、下痢、37.5℃の発熱が出現。ワクチン接種2日後、下痢回復。ワクチン接種3日後、右背部痛、右上肢のしびれが出現。ワクチン接種6日後、右上肢脱力、拳上困難が出現。ワクチン接種7日後、入院。MRIにて頸髄に新たな病変(T2増強画像)を認め、ステロイドパルス療法3クールを施行し、症状軽快。ワクチン接種1ヶ月後、退院。	多発性硬化症再発	重篤	デンカ研 S1-B	軽快	因果関係不明	○中村先生： 投与との時間的關係から再発を引き起こした可能性は否定できません。しかしながら、投与後の発熱がみられており、発熱自体が再発を引き起こすこともまれにありますので、因果関係不明といたします。 ○埜中先生： ADEMとしては時間が早すぎる。今回は頸髄に新しい病変ができていますので、MSの再燃と考えられる。ワクチンに直接の関係を求めることはできない。 ○吉野先生： 本例は30回も再発が今までであったことから、自然の再発かもしれませんが、ワクチン接種3日後なので関連性は否定できないと思います。
101	70代 男性	心不全(内服治療下でNYHA分類I度にはかない位) 他院で糖尿病、脂質異常症、高血圧の治療を行っている。	ワクチン接種後、ふらつき症状が出現。血圧、脈拍、胸部X線、心電図は問題なし。血糖値378mg/dL。加療せず経過観察のため入院。	ふらつき	重篤	化血研 SL06A	回復	因果関係不明	○埜中先生： 接種後2時間半目のことで、「ふらつき感」だけで、因果関係は認められない。 ○中村先生： ふらつきのみであり詳細不明です。 ○吉野先生： 接種直後のふらつきで、免疫反応を介したADEMなどは考えにくく、血管迷走神経反射その他の原因を考えます。おそらく因果関係ないと考えます。

No.	年齢・性別	既往歴	経過	副反応名	重篤/非重篤	ロット	転帰	ワクチンと副反応との因果関係	専門家の意見
102	10歳未満・男性	上気道炎(軽度、発熱なし)	ワクチン接種前日、軽度の咳、鼻水あり。ワクチン接種前、発熱なく元気あり、ラ音なし。気管支炎傾向になりやすいため、従前より気管支拡張剤を投与。ワクチン接種30分後、異常ないことを確認し帰宅。ワクチン接種5時間後、急に走り出し、目つきがおかしくなった(約3分間)。その後、落ち着いたが、普段より少し興奮状態。発熱はなく、入眠。ワクチン接種10時間後、入眠中、急に起きて泣き出し、約3分間に渡りけいれんが出現。救急搬送。けいれん後も「イヤだイヤだ」と言い、体を硬くしていた。体温37.2℃。検査中に39.8℃まで体温上昇。CRP 2.6mg/dL、白血球5,500/μL、アンモニア96μg/dL、血糖101mg/dL、CT異常なし、インフルエンザ検査陰性。クラリスロマイシン、ソロブテロール塩酸塩、クレマステンフマル酸塩、チベピジンヒベンズ酸塩、L-カルボシステイン処方し帰宅。ワクチン接種翌日、夕方までは元気あり、異常行動なし。同日夜、熱の上下を繰り返すため、医療機関受診し、入院。ワクチン接種3日後、発熱回復、異常行動なし、けいれんなし。ワクチン接種9日後、マイコプラズマ肺炎も回復。	異常行動(興奮状態)、発熱、けいれん、マイコプラズマ肺炎	重篤	微研HP03A	回復	因果関係不明	○中村先生: けいれんについては、発熱がなくても起こっており、基礎疾患もなかったのであれば因果関係は否定できないと思います。ADEMとしては、ステロイドパルスなどの治療もなく回復していることから考えにくいと思います。また髄液検査などの記載もないため情報不足です。発熱については、マイコプラズマ肺炎でも起こりうるので因果関係不明とします。 ○埜中先生: けいれんは時間的關係から因果関係は否定できない。異常行動も軽いけいれん様症状として因果関係は否定できない。マイコプラズマ肺炎は情報不足。症状や時間的關係からADEMは否定できる。 ○吉野先生: ワクチン接種による脳症だった可能性がありますが、マイコプラズマも脳炎、髄膜炎合併します。どちらが原因かは不明です。
103	10代・男性	基礎疾患として気管支喘息を有するが、症状はない。	ワクチン接種翌日、1時間目の授業中、左上肢振戦が出現。受診。注射部位皮疹あり。意識清明。左上肢振戦、左上肢筋力やや低下あり。他の明確な神経学的異常なし。頭部単純CT、頭部単純MRIにて明らかな異常所見認めず。経過観察入院。ワクチン接種2日後、振戦はほぼ消失。ワクチン接種3日後、振戦消失。ワクチン接種4日後、脳波検査を施行し、退院。	左上肢振戦	重篤	化血研SL05B	回復	情報不足	○中村先生: 振戦の詳細(本当に振戦であったのかどうか)が不明であり情報不足とします。 ○埜中先生: 何らかの中樞神経系の異常を来した可能性は否定できない。ADEMは症状、時間経過から否定的。 ○吉野先生: 因果関係否定できず
104	80代・男性	無	ワクチン接種3日後、口が曲がっていると指摘される。右側顔面神経麻痺が出現。翌日、受診。	右側顔面神経麻痺	重篤	化血研SL08B	調査中	情報不足	○中村先生: 顔面神経麻痺のみであれば、偶発的に起こった可能性が高いと思います。 ○埜中先生: 情報不足で評価できない。因果関係はなさそう。ADEMは症状、時間経過から否定的。 ○吉野先生: 因果関係不明。この報告では、ただのBell麻痺、ないしラクナ梗塞かもしれません。
105	10歳未満・男性	無	ワクチン接種1時間後、発熱が出現、上肢、下肢部にしびれが出現。ワクチン接種2日までしびれは継続し、ワクチン接種3日まで上肢しびれは継続。同日まで発熱も継続。ワクチン接種8日後には、しびれは消失。その間、運動障害が出現し、ワクチン接種2日後に蕁麻疹が出現。その後次第に蕁麻疹は消炎。	神経障害、腫脹発熱、蕁麻疹	非重篤	微研会HO07B	回復	副反応としては否定できない。	○中村先生: 神経障害については、投与直後でもありGBSは否定的です。運動障害の記載も詳細不明ですので神経障害は情報不足とします。腫脹、発熱、蕁麻疹については、因果関係は否定できません。 ○埜中先生: しびれは客観的なもので、検査所見もなく評価できない。また運動障害も内容の記載がなく評価できない。ADEMは時間経過、症状から否定できる。蕁麻疹は因果関係否定できない。 ○吉野先生: ADEMが発症した可能性は否定できないと思います。
106	10歳未満・男性	無(運動発達が遅延気味であった印象あり。Shuffling babyの疑い)	ワクチン接種8日後、左下肢を痛がる仕草あり、歩こうとしない。ワクチン接種9日後、機嫌悪く、歩こうとも坐ろうともせず、整形外科受診。特に異常なし。ワクチン接種10日後、機嫌よく、坐るようになるが、歩こうとせず。いざり這いは可能。ワクチン接種13日後、立て膝可能。ワクチン接種15日後、独座可能となる。	歩行不能	重篤	微研会HP03A	未回復	情報不足	○中村先生: もとの運動機能や知的状態の記載がないので評価困難です。 ○埜中先生: 歩行不能が筋力低下によるものか、麻痺なのか詳細不明。また、検査所見もなく評価できない。ADEMは症状から否定的。 ○吉野先生: 否定できず

No.	年齢・性別	既往歴	経過	副反応名	重篤/非重篤	ロット	転帰	ワクチンと副反応との因果関係	専門家の意見
107	60代・男性	躁うつ病に対して抗精神病薬にて治療中 処方薬は以下の通り。少なくとも半年以上服薬している。 リーマス(200) 3錠 メチコパール(500) 3錠 ラックビー-N 3.0g ガスコン 240mg 以上を分3で服用。 リーマス(200) 1錠 レボトミン 40mg ベンザリン 15mg レンドルミンD(0.25) 1錠 センノサイド(12mg) 2錠 以上を1回、就寝前に服用。 フルニトラゼパム(1mg) 1錠 不眠時に服用 ヨーピス液 便秘時に服用。	ワクチン接種前、体温36.0℃。ワクチン接種翌日、全身筋肉痛、脱力が出現。歩行困難にて来院。他院紹介。CPK上昇。ワクチン接種3日後、入院中。	全身筋肉痛、脱力	重篤	微研会 HP05A	調査中	情報不足	○中村先生： 全身症状としての筋肉痛の可能性が高いと思います。GBSとしては時間的にも早すぎますし、他に情報が不足しています。 ○埜中先生： CK値の上昇、筋痛があるので横紋筋融解症の可能性あり。ただし、これだけの情報からは因果関係を評価できない。ギランバレー症候群は時間的、症状から否定的。 ○吉野先生： 多量の精神薬服用していると、悪性症候群が出現することがしばしばあります。
108	10歳未満・女性	季節性インフルエンザワクチン接種	ワクチン接種15分後、近くのものが見え、手に物を持っている感覚(実際には持っていない)、全身の振戦発現。悪寒はない。	神経障害	非重篤	デンカ生研 S2-B	回復	情報不足	○中村先生： 症状が様々ありますが、情報不足で評価困難です。副作用名として、神経障害とまでいえないと思います。 ○埜中先生： 軽いけいれん類似の可能性はあるが、これだけの記載からは評価できない。 ○吉野先生： 迷走神経過緊張状態のように思われます。
109	70代 男性	無	ワクチン接種10日後頃より、表在覚障害が出現し、進行増悪。ワクチン接種20日後より、両下肢筋力低下、顔面筋筋力低下が出現。ワクチン接種24日後、入院。頭部MRIでは異常はなし。髄液検査では蛋白細胞解離が認められた。電気生理検査では、四肢でF波導出不良。伝導ブロックの遅延が認められ、ギランバレー症候群が疑われた。現在、抗グングリオシド抗体で確認中。	ギランバレー症候群	重篤	化血研 SL03B	調査中	副反応としては否定できない。ギランバレー症候群が否定できない。	○中村先生： 検査結果の実際の数値などが不明ですが、記載通りの異常があり、時間的な経過からもギランバレー症候群は否定できませんので、因果関係は否定できないといえます。 ○埜中先生： 時間的関係、症状、検査所見からワクチン接種後のギランバレー症候群と診断できる。 ○吉野先生： ワクチン接種後のギランバレー症候群として良いです。因果関係否定できません(ほとんどあり)。
110	80代・男性	心疾患	ワクチン接種日の夜に歩行困難が出現(普段は自力歩行可能)。トイレにも行けない位倦怠感が強く、夕食も食べられなかった。	全身倦怠感、脱力	非重篤	微研会 HP05B	軽快	情報不足	○中村先生： 全身症状として倦怠感と考えます。GBSは否定的です。 ○埜中先生： 歩行困難が筋性か神経原性かも判断できない。また、経過の記載もなく、評価できない。 ○吉野先生： 因果関係不明